

公益財団法人 大隅基礎科学創成財団

第 5 期（2021 年度）事業報告

（2021 年 8 月 1 日から 2022 年 7 月 31 日）

報告内容

I. 事業の実施状況

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 基礎研究の助成事業 | 2 |
| 2. 研究者と社会との新たな連携を構築する事業 | 3 |

II. 管理業務

- | | |
|------------------|---|
| 1. 財団の体制整備に関する事項 | 5 |
| 2. 理事会及び評議員会の開催 | 5 |
| 3. 選考委員会の開催 | 6 |
| 4. 寄付・会員の状況 | 7 |
| 5. 広報活動 | 7 |

公益財団法人 大隅基礎科学創成財団
第5期（2021年度）事業報告
（2021年8月1日から2022年7月31日）

当財団は、日本社会の科学基盤の発展に寄与することを目的として、2017年8月9日に一般財団法人として創設、2018年8月1日に公益財団法人に認定された。

第5期は前期に引き続き、基礎研究の助成事業及び研究者と社会との新たな連携構築事業の2つを柱として活動した。研究助成への応募総数は180件を超え、前期と同規模の助成を行った。研究者と社会との新たな連携構築事業では、創発セミナーは新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン開催を中心として実施した。前期に立ち上げた微生物機能探究コンソーシアムは、研究グループ、参加企業とも増え、活動が広がった。

管理業務においても、理事会、評議員会はすべてオンライン開催とした。

第5期の事業の実施状況、及び管理業務について報告する。

I. 事業の実施状況

1. 基礎研究の助成事業

第5期研究助成は、2021年5月6日～6月30日の期間に公募を行った。基礎科学（一般）152件、基礎科学（酵母）31件の応募があり、選考委員による書類審査を行い、選考委員会を開催して厳正に審査し採択候補を選定した。採択課題は、2021年9月16日理事会及び理事会後の審議で承認された。第5期までの助成件数と助成金額を表1に示す。第5期の基礎科学（一般）及び基礎科学（酵母）の研究助成対象者と研究課題をそれぞれ表2-1、表2-2に示す。

表1. 研究助成の件数と金額 （金額単位：千円）

	基礎科学（酵母）		基礎科学（一般）		計	
	助成件数	助成金額	助成件数	助成金額	助成件数	助成金額
第1期	4	10,000	-	-	4	10,000
第2期	3	12,000	9	32,700	12	44,700
第3期	3	12,000	8	48,000	11	60,000
第4期	3	12,000	9	48,000	12	60,000
第5期	3	12,000	10	48,000	13	60,000
計	16	58,000	36	176,700	52	234,700

表2-1. 第5期 基礎科学（一般）研究助成対象者及び研究課題 （氏名の五十音順）

氏名	所属	研究課題
阿部 光知	東京大学	花成ホルモン・フロリゲンの新奇制御階層の解明
伊藤 久美子	名古屋大学	時計タンパク質 KaiC の2つの ATPase による機械的な概日時計機構
佐藤 明子	広島大学	積荷タンパク質の選別輸送機構ーリサイクリングエンドソームの役割ー
瀬川 勝盛	東京医科歯科大学	膜リン脂質の恒常性維持の分子機構
高橋 俊一	琉球大学	エンドサイトーシスの許容取込サイズの向上による共生

		能力獲得機構の解明
千葉 由佳子	北海道大学	植物時計遺伝子の uORF を介した時間依存的な翻訳抑制機構
月原 富武	兵庫県立大学	精密結晶構造解析によるチトクロム c 酸化酵素の作動機構の解明
藤原 崇之	国立遺伝学研究所	単細胞真核藻類のエネルギー生産と消費戦略の解明に向けたシアニジウム研究系の開発
山口 暢俊	奈良先端科学技術大学院大学	花卉基部細胞の分化による脱離制御機構の解明
渡邊 正勝	大阪大学	ゼブラフィッシュ体表模様形成の分子機構の解明

表 2-2. 第 5 期 基礎科学（酵母）研究助成対象者及び研究課題 (氏名の五十音順)

氏名	所属	研究課題
井沢 真吾	京都工芸繊維大学	酵母を酵母たらしめる優れたエタノールストレス対処能力の多面的解析
谷 元洋	九州大学	生体膜スフィンゴ脂質の異常に対する酵母の防御応答戦略の解明
星田 尚司	山口大学	ヌクレオチド配列選択的に働き、イントロンが回避させる発現抑制機構の解析とその生理学的・進化的意義

2021 年 12 月 17 日に対面とオンラインのハイブリッド形式にて研究助成贈呈式を行い、理事長より助成対象者に贈呈書が授与された。基礎科学（酵母）の助成対象者には、併せて大隅基礎科学創成財団酵母コンソーシアムフェローの称号が授与された。

酵母コンソーシアムフェローの情報交換及び議論の場としてオンラインセミナーを 3 回（2021 年 10 月 8 日、2022 年 1 月 27 日、2022 年 3 月 29 日）開催した。並行して Slack のチャンネルを立ち上げ、セミナーのテーマや課題について情報交換を行った。

第 6 期研究助成は、2022 年 5 月 6 日～6 月 30 日の期間に公募を行い、基礎科学（一般）123 件、基礎科学（酵母）30 件の応募を受け付け、選考を開始した。

2. 研究者と社会との新たな連携を構築する事業

(1) 創発セミナー

財団の活動に賛同する基礎研究者と企業の研究者等が自由に意見を交わし、基礎科学と産業界の新しい協力関係を構築する場として創発セミナーを年間 9 回開催した（表 3）。新型コロナウイルス感染の状況を考慮し、9 回中 7 回はオンライン開催としたが、2021 年 12 月の研究助成贈呈式及び 2022 年 7 月の感謝の集いは、人数を制限して会場参加とオンラインのハイブリッド形式で開催した。また、第 8 回は「腸内細菌をめぐる最新の話」というテーマで個人の支援者にも拡大して案内をしたところ、213 名が参加した。

表 3. 第 5 期創発セミナー

回	日程	場所	テーマ	参加者
1	2021/10/21 (木)	オンライン	地球環境を支える植物と微生物の共生	133 名(演者 2, 参加 128, 財団スタッフ 5)
2	2021/11/19 (金)	オンライン	[酵母コンソーシアム] 細胞の状態を計測する～新たな技術とその応用	86 名(演者 2, 研究者 49, 企業 30, 財団スタッフ 5)

3	2021/12/17 (金)	東工大&オンライン (ハイブリッド)	[研究助成贈呈式] 講演：染色体の謎に迫る — 命のプラットフォーム、染色体の構造と機能を解き明かす—	57名(演者 1, 研究助成者 13 (うちオンライン参加 2), 財団スタッフ 5, オンライン参加企業 18, 研究者 20)
4	2022/2/17 (木)	オンライン	生命の根源を支える太陽エネルギー、光合成研究の現状と将来	82名(演者 2, 研究者 34, 企業 41, 財団スタッフ 5)
5	2022/3/14 (月)	オンライン	[アドバイザー会議] AI時代の研究の創造性について	97名(演者 2, パネリスト 13, 企業 53, 研究者 24, 財団スタッフ 5)
6	2022/4/23 (土)	オンライン	生命の不思議な能力に迫る	132名(演者 2, 企業 67, 研究者 58, 財団スタッフ 5)
7	2022/5/26 (木)	オンライン	[酵母コンソーシアム] 様々な環境要因が生み出す酵母の多様性と進化	98名(演者 3, 研究者 40, 企業 49, 財団スタッフ 6)
8	2022/6/21 (火)	オンライン	腸内細菌をめぐる最新の話	213名(演者 2, 研究者 54, 企業 96, 個人支援者 56, 財団スタッフ 5)
9	2022/7/29 (金)	学士会館&オンライン (ハイブリッド)	[感謝の集い] 講演：睡眠の謎に挑む	40名(演者 4, 個人支援者 18, 企業 6, 研究者 6, 財団スタッフ 6)

(2) 市民講座

市民講座は市民及び学生に基礎科学の面白さや大切さを理解してもらい、科学の振興を支援する文化を醸成すること及び地域社会への貢献を目的としている。2021年8月28日、「生命の不思議 — 地球上の生命の多様性を支える仕組み」をテーマにオンラインで開催した。全国から220人が参加、理事長のあいさつの後、國枝武和氏（東京大学理学系研究科准教授）が「クマムシ」、本郷裕一氏（東京工業大学生命理工学院教授）が「シロアリ」をテーマに講演、活発な質疑も行われ、盛況のうちに閉会した。

(3) 次世代を担う小中高生と研究者のふれ合いの集い

次世代を担う人材を育てるために、小中高生が最先端の科学に触れ、科学者と交流する場として、第5回 小中高生と最先端研究者とのふれ合いの集いを2022年3月27日（日）に埼玉県川口市の川口総合文化センター・リリアで開催、98名が参加した。豊田正嗣氏（埼玉大学理工学研究科准教授）の「感じる植物、動く植物」と題した講演、成瀬清氏（基礎生物学研究所特任教授）の「メダカ」をテーマとした講演の後、大隅良典理事長への質問タイムがあり多くの質問が寄せられた。その後、大学や企業が出展した科学体験ブースに移動して、実験・観察などの科学体験を楽しんだ。

(4) 微生物機能探究コンソーシアム（略称、微生物コンソーシアム）

微生物コンソーシアムは、アカデミアと企業が連携して微生物学の発展を図ることを目的として、2020年12月に発足した。2021年度は、活動の2年目として、定例会と全体会を開催するとともに、年度の途中に研究グループを1つ、参加企業を3社増やした。

2021年度のグループごとの定例会7回（新規のグループ4は3回）、全グループ合同で開催する全体会を3回（うち2回はオンライン、1回は対面）開催し、微生物学に関する研究紹介、話題提供をして議論を行った。活動には参加企業からの会費を充てた。

コンソーシアム運営に関する事項を審議するために、財団理事、グループリーダー及び企業からの委員、計 11 名で構成される運営委員会を置き、審議結果は財団の理事会に上申した。

(5) 企業等の課題解決に向けた相談対応
実施なし。

II. 管理業務

1. 財団の体制に関する事項

第 4 回定時評議員会（2021 年 10 月 14 日）の終結の時をもって、評議員 11 名、監事 1 名、理事 13 名の全員が任期満了により退任となるため改選を行い、評議員 10 名、監事 1 名、理事 13 名が選任され同評議員会終結後に就任した。第 2 回理事会（2021 年 10 月 26 日）において、理事長及び業務執行理事（常勤）3 名が選定された。

選考委員 15 名（基礎科学（一般）12 名、基礎科学（酵母）3 名）が 2022 年 2 月 2 日をもって 2 年間の任期満了となり改選を行った。基礎科学（一般）の選考委員が 1 名増員となり、計 16 名となった。任期は理事会承認（（2022 年 3 月 30 日）から 2 年。

2021 年 10 月 14 日の第 4 回定時評議員会において承認された 2021 年度事業報告及び計算書類等の定期提出書類、及び 2022 年 7 月 20 日開催の理事会において承認された 2022 年度事業計画及び収支予算に基づく事業計画に係る定期提出書類を内閣府に提出し、財団のホームページに掲載した。

2. 理事会及び評議員会の開催

(1) 第 1 回理事会（2021 年 9 月 16 日）（オンライン開催）

- 第 1 号議案 第 4 期（2020 年度）事業報告・計算書類の承認の件
- 第 2 号議案 第 5 期研究助成の決定の件
- 第 3 号議案 選考委員会規程の変更の件
- 第 4 号議案 会員に関する規程の変更の件
- 第 5 号議案 寄付金取扱規程の変更の件
- 第 6 号議案 企業等の相談対応に関する規程の承認の件
- 第 7 号議案 賛助研究者の件
- 第 8 号議案 資金運用の件
- 第 9 号議案 評議員、理事、監事候補者の件
- 第 10 号議案 第 4 回定時評議員会招集の決定の件

(2) 第 4 回定時評議員会（2021 年 10 月 14 日）（オンライン開催）

- 第 1 号議案 第 4 期（2020 年度）事業報告・計算書類の承認の件
- 第 2 号議案 評議員、理事、監事の任期満了に伴う選任の件

(3) 第 2 回理事会（2021 年 10 月 26 日）（みなし決議）

- 第 1 号議案 代表理事の選定の件
- 第 2 号議案 業務執行理事（常勤）1 名の選定の件
- 第 3 号議案 業務執行理事（常勤）1 名の選定の件

第4号議案 業務執行理事（常勤）1名の選定の件

(4) 第3回理事会（2022年1月6日）（オンライン開催）

第1号議案 会員に関する規程の変更の件

(5) 第4回理事会（2022年3月9日）（オンライン開催）

第1号議案 選考委員の選任の件

第2号議案 微生物機能探究コンソーシアム規程の変更の件

第3号議案 微生物機能探求コンソーシアムの新しい研究グループ追加の件

(6) 第5回理事会（2022年3月30日）（みなし決議）

第1号議案 選考委員の選任の件

(7) 第6回理事会（2022年7月20日）（オンライン開催）

第1号議案 執行理事（常勤理事）1名の月額報酬の変更の件

第2号議案 第6期（2022年度）事業計画書及び収支予算書等の承認の件

3. 選考委員会の開催

基礎科学（一般）

第1回選考委員会（2021年8月24日） オンライン開催

選考委員の書面審査の結果をもとに議論し、採択候補を15名に絞った。

第2回選考委員会（2021年9月6日） オンライン開催

一次選考で選ばれた15名について、選考委員全員の二次評価結果をもとに審議し10名を採択候補とした。最終採択候補、助成金額については選考委員長と理事長に一任することで合意した。9月11日、委員長と理事長で協議し、採択候補10名と助成金額を決定した。

理事会（2021年9月16日）

理事会において10名の採択候補が承認されたが、同様の研究課題で他の高額助成を受けることが決まった場合は相談させていただくことを採択通知に記載することとなった。

選考委員会（メール審議）

9月21日（採択通知送付前）、採択候補者1名が同様の研究課題で他の高額助成に採択されたことが公表された。委員長と理事長で協議し、当財団の研究助成の趣旨に鑑み、当該候補者を不採択として追加採択候補1名を選定して理事会に諮ることとした。選考委員会で追加採択候補を選定して研究助成の修正案を作成し、理事長よりメールにて理事全員に諮り、9月30日承認を得た。

基礎科学（酵母）

第1回選考委員会（2021年8月18日） オンライン開催

応募31件について各委員による採点順位を元に意見交換を行い、各委員からの評価、意

見を詳細に検討、議論して採択候補者として3名を選出した。
 第2回選考委員会（2021年8月27日） オンライン開催
 一次選考の結果をもとに議論し、採択候補と助成金額を決定した。

4. 寄付・会員の状況

第5期は、個人、法人・団体からの寄付、法人会員年会費、及び微生物コンソーシアム年会費として総額103,888,900円を受領した。寄付の状況、及び毎月の収支については、理事長及び常勤理事と事務局の週次打合せにおいて報告を行った。

第5期の寄付、会員の状況は表4の通り。

表4. 寄付及び会費の状況

	個人	法人・団体寄付	法人・団体会費	計
第5期	45,758,900円 (367件)	8,530,000円 (18件)	25,600,000円 (法人年会員 20件)	103,888,900円
内訳	内訳			
一般寄付	15,258,900円(362)	一般寄付	24,000,000円	
特別寄付(使途指定)	30,500,000円(5)	8,530,000円(18)	(微生物コンソー シアム年会費 12件)	

5. 広報活動

財団ホームページに財団の事業及び活動の紹介を適宜行い、2021年10月、及び2022年1月に財団の支援者に財団の活動の様子を知らせるニュースレターを送付した。

財団 Twitter にて財団のイベントや理事長の活動について18回の投稿を行った。

第6期研究助成の公募について関連25学会に連絡し、学会ホームページへの掲載及び学会からの案内送付を依頼した。研究助成の応募者へのアンケートで当財団の研究助成を知ったきっかけとして「学会からの案内」との回答は回答全体の20.5%であった。

以上